① 保育所、認定こども園、地域型保育事業(里・下甑保育園を除く)

| 上段 | 第1子「徴収基 | 準額」 |
|------|----------|------|
| (下段) | 第2子 (基準額 | の半額) |

(単位:円・月額)

| Γ | 市町村民税額による 世帯の区分 | 階層 | 満3歳以上子ども (2号認定子ども) 保育料 総費(副食費) | | 満3歳未満子ども (3号認定子ども) 保育標準時間 保育短時間 | |
|---|---------------------------------|------|--------------------------------------|-----------|---------------------------------------|--------------------|
| 生 | 活保護世帯 | Α | 幼児教育・保育無償化により無 | | 幼児教育・保育の | |
| 市 | 町村民税非課税世帯 | B01 | | | より無料 | |
| | 48,600 円未満世帯 (均等調照がで所割の円も含む) | C01 | | 免除 | 13,600 (6,800) | 13,400 (6,700) |
| | 48,600 円以上 57,700 円未満世帯 | D01' | | | 21,000 (10,500) | 20,700 (10,350) |
| 所 | 57,700 円以上 97,000 円未満世帯 | D01 | 幼児教育・保育 の無償化により 無料 | 保護者 負担 | 21,000 (10,500) | 20,700 (10,350) |
| 得 | 97,000 円以上 課税,000 円未満世帯 | D02 | | | 27,800 (13,900) | 27,400 (13,700) |
| | 121,000 円以上 169,000 円未満世帯 | D03 | | | 33,300 (16,650) | 32,800 (16,400) |
| | 169,000 円以上 301,000 円未満世帯 | D04 | | | 39,600 (19,800) | 39,000 (19,500) |
| | 301,000 円以上 397,000 円未満世帯 | D05 | | | 44,000 (22,000) | 43,300 (21,650) |
| | 397,000 円以上世帯 | D06 | | | 46,800 (23,400) | 46,100 (23,050) |

◆B01階層、C01階層およびD01階層の世帯で、ひとり親世帯、障害者同居世帯等の場合

| 市町村民税非課税世帯 | B01減 | 幼児教育・保育 の無償化により 無料 | | 幼児教育・保育の 無償化により無料 | | |
|----------------------------|-------|--------------------------|------------------------------|----------------------|---------------|---------------|
| 48,600 円未満世帯 | C01減 | | D1減 <mark>幼児教育・保育</mark> | | 6,000 | 6,000 |
| (均等割課税で所得割0円も含む) | | | 免除 | (0) | (0) | |
| 48,600 円以上 57,700 円未満世帯 | D01減' | | | | 6,700 (0) | 6,700 (0) |
| 57,700 円以上 77,101 円未満世帯 | D01減 | | | 6,700 (0) | 6,700 (0) | |

- ※保育料は、4月1日現在の年齢を基準とします。
- ※年度途中で満3歳になった場合でも、次の3月31日までは満3歳未満児(3号認定子 ども)の保育料を適用します。
- ※保育料は、教育・保育給付認定保護者と生計を同じくするきょうだいの年齢にかかわらず、第1子が基準額、第2子が半額、第3子以降が無料です。
- ※保育料とは別に、教材費や行事費など実費徴収や上乗せ徴収する保育施設があります。
- ※通園送迎費、食材料費(副食費(おかず代・おやつ代等))、行事費などは保護者負担となります。
- ※副食費(おかず代・おやつ代等)
 - 2号認定においては、57,700円未満(ひとり親世帯等については、77,101円未満)の世帯の副食費は免除されます(3号認定については保育料に含まれます)。
 - また、副食費は第3子以降が免除となりますが、副食費における第3子以降とは、小学校就学前の児童から数えて3番目以降の場合を指します。
- ※教育・保育給付認定された保育必要量(保育標準時間・保育短時間)の時間帯を超えて 利用する場合は、別途延長保育料がかかります。(延長保育料は無償化の対象とはなり ません。)

② 里保育園・下甑保育園

 上段
 第1子「徴収基準額」

 (下段)
 第2子(基準額の半額)

(単位:円・月額)

| 市町村民税額による世帯の区分 | | 階層 | 満3歳以上子ども (2号認定子ども) 保育標準時間 保育短時間 | 満3歳未 (3号認定 保育標準時間 | 満子ども E子ども) 保育短時間 |
|----------------|-------------------------------|----|---------------------------------------|-------------------------|----------------------------|
| 生 | 活保護世帯 | 1 | | - 幼児教育・保育の | |
| 巾 | 町村民税非課税世帯 | 2 | | 無償化に | より無料 |
| | 48,600 円未満世帯 (均等割課税で所得割0円も含む) | 3 | | 8,800 (4,400) | 8,600 (4,300) |
| | 48,600 円以上 57,700 円未満世帯 | 4' | | 13,600 (6,800) | 13,300 (6,650) |
| 所 | 57,700 円以上 97,000 円未満世帯 | 4 | | 13,600 (6,800) | 13,300 (6,650) |
| 所得割課税 | 97,000 円以上 121,000 円未満世帯 | 5 | | 18,000 (9,000) | 17,600 (8,800) |
| · 税額 | 121,000 円以上 169,000 円未満世帯 | 6 | | 21,600 (10,800) | 21,100 (10,550) |
| | 169,000 円以上 301,000 円未満世帯 | 7 | | 25,700 (12,850) | 25,100 (12,550) |
| | 301,000 円以上 397,000 円未満世帯 | 8 | | 28,600 (14,300) | 27 ,900 (13,950) |
| | 397,000 円以上世帯 | 9 | | 30,400 (15,200) | 29,700 (14,850) |

◆2階層、3階層および4階層の世帯で、ひとり親世帯、障害者同居世帯等の場合

| 市町村民税非課税世帯 | 2減 | 幼児教育 無償化に。 | |
|------------------|--------|---------------|--------|
| 48,600 円未満世帯 | 3減 | 3, 500 | 3, 500 |
| (均等割課税で所得割0円も含む) | O //ex | (0) | (0) |
| 48,600 円以上 | 4減' | 4, 300 | 4, 300 |
| 57,700 円未満世帯 | 4测 | (0) | (0) |
| 57,700 円以上 | 4減 | 4, 300 | 4, 300 |
| 77,101 円未満世帯 | 4/00 | (0) | (0) |

- ※保育料は、4月1日現在の年齢を基準とします。
- ※年度途中で3号から2号に認定が変更になった場合でも、次の3月31日までは満 3歳未満児(3号認定子ども)の保育料を適用します。
- ※教育・保育給付認定保護者と生計を同じくするきょうだいの年齢にかかわらず、第 1子が基準額、第2子が半額、第3子以降が無料です。
- ※保育料とは別に、教材費や行事費など実費徴収や上乗せ徴収する保育施設があります。
- ※通園送迎費、食材料費(副食費(おかず代・おやつ代等))、行事費などは保護者 負担となります。
- ※教育・保育給付認定された保育必要量(保育標準時間・保育短時間)の時間帯を超えて利用する場合は、別途延長保育料がかかります。(延長保育料は無償化の対象となりません。)

1号認定子ども

| 区 分 | 保育料 | 給食費 (副食費) |
|----------------------------|----------|--------------|
| 生活保護世帯 | | 免除 |
| 市区町村民税非課税・均等割額のみ課税世帯 | 幼児教育・保育の | |
| 市区町村民税課税世帯 (77,101 円未満の世帯) | 無償化により無料 | |
| 市区町村民税課税世帯 (77,101円以上の世帯) | ' | 保護者負担 |

※副食費(おかず代・おやつ代等)

1号認定においては、77,101円未満(ひとり親世帯等含む)の世帯の副食費は免除されます。(免除以外の方は、ご利用の施設等に直接お支払いください)また、副食費は第3子以降が免除となりますが、副食費における第3子以降とは、小学校3年生以下の子どもから数えて3番目以降の場合を指します。

- ※その他、教材費、行事費など実費徴収や上乗せ徴収する施設があります。
- ※保育の必要性がある子どもが、預かり保育を利用する場合の利用料は、施設等利用 給付認定(新2号(3~5歳児)、新3号認定(満3歳児で市区町村民税非課税世帯)) を受けることで、無償化の対象となります。
 - 3歳児以上児の上限額月額 11,300 円
 - ・満3歳児(年度途中で3歳になった子ども)で非課税世帯の上限額月額 16,300円「上限額」と「利用料」と「450円×利用日数の額」を比較して少ない額が対象。 (超過分を施設へ支払うことになります。)
- ※年度途中で満3歳の誕生日を迎えるお子様は、次の3月31日までは「満3歳未満児」の扱いとなり、新年度4月から「3歳児」となります。
- ※子ども・子育て支援制度に移行していない私立幼稚園の保育料は、施設で設定します。 施設等利用給付認定(新1号認定)を受けることにより、月額25,700円を上限として、無償化の対象となります。